

電気機械器具製造業

事例37

「人間性の尊重」という企業理念の 具現化を目指す

企業理念に「人間性の尊重」と「社会への貢献」を掲げ、社員の健康と安全に配慮しながら、働きがいのある職場環境を形成し、平成23年度厚生労働大臣表彰・奨励賞を受賞。

日置電機株式会社・長野県

高付加価値の製品を提供

日置電機株式会社（以下H I O K I）は、指示電気計器の製作を1935年に開始したことから始まる。ところが太平洋戦争末期には東京への空襲が激しくなり、戦火を逃れ長野県へ移転した。戦争終結後も、長野県は空気がきれいで降水量も少ないなど、精密機械の製造に環境が適していたため、そのまま生産の拠点とすることとした。

戦後間もなく、アメリカ極東空軍の航空機用マルチテスト製造工場に指定されるなどの実績が買われ、1954年には北米への輸出を開始する。オイルショック以降は量から質への転換を図り、経営の近代化と自主技術の確立を推進する。

H I O K Iは1985年に創業50周年を迎え、企業理念「H I O K Iの理念」の策定をする。企業としてさらなる飛躍を目指そうと考えたのである。それにより、従来からの開発力、技術力に加え、いわゆる社員力とでもいべきものをさらに発揮するようになった。

安全衛生の根底にある「H I O K Iの理念」

「H I O K Iの理念」では大きく2つのことが謳われている。1つが「人間性の尊重」であり、もう1つが「社会への貢献」である。

「人間性の尊重」とは、働く人間がよりよい人生を歩むにはどうあるべきか、職場をベースにして自己実現をしていくのかということである。その元となるのは健康であり、仕事に生きがいや喜びを感じることができる職場環境を整備することが大切だという考えである。

厚生労働大臣奨励賞をはじめとした数々の表彰状



展示室に飾られた、これまでに開発製造してきたHIOKIの製品



社内にあるHIOKIホールでは、社外の講師を招いての講座やコンサートなどを開催



一例として、HIOKIでは20年以上前から30歳および35歳以上で会社負担による人間ドックを実施している。さらに2000年頃からは、35歳以上の被扶養配偶者も会社負担による人間ドックの対象としている。社員が健康的な毎を送るには、家族も健康であることが大切だという考えである。

社内にある健康相談室にはカウンセラーが面談、研修、カウンセリング、不調者対応などに月4回ほど訪れる。また、保健指導では保健師が常駐し、健康診断のフォローアップ、身体不調の相談、介護相談などを実施している。

最近、社会一般ではストレスに対して耐性の弱い社員が増加し、多くの企業でメンタルヘルスが問題となっているが、HIOKIでは約700人の社員のうち、休職者は2名ほど(2012年末)しかいない。

また、自己実現のためには個人の能力向上が必要なことから、研修制度の一環として、全社員に対し、1年間で40時間を目標にした社内外での研修の奨励がある。

安全も健康も、基本は同じ

HIOKIの製品は少量対品種で生産されている。そのため製造現場ではラインの中の

落下防止のために紐が取り付けられたラックの中の商品など



セル方式の作業現場



日置電機本社(写真中央)とテニスコート、グラウンド、左手に見えるのは来客の宿泊も出来る日置ロッジ、全体を囲む緑地帯(森)とあわせ、2009年緑化推進功労者として内閣総理大臣表彰を受けた



管理された有機溶剤



一部を受け持つのではなく、組み立てから梱包までの作業に、1人で責任を持つ。当然、与えられた作業を、いわれた通りにこなすのではなく、自ら考えることになる。1人ひとりが自ら考え行動するのはオフィスでの仕事にも貫かれている。

各フロアには壁もドアもなく、簡単な間仕切りで仕切っただけの明るく開放的な空間となっている。部署ごとのレイアウトも自主性に任せられ、それぞれが自由な発想で理想的と思うオフィス空間を作り出している。同社では2009年にSHMS (Safety & Health Management System=安全衛生マネジメントシステム)を導入したが、それも、当然H I O K Iの理念である「人間性の尊重」に思想に基づいたものだ。

工場も、遠目からはたくさんのラックが整然と並んでいるようにしか見えない。セル生産方式のため、三方を部品で用意されたラックに囲まれた中で1人ひとりが組み立て作業を行う。ラックにはキャスターが取り付けられているので、レイアウトは簡単に変更できる。

そのラック、必要な物すべてが目線に入るように高さを160cm以内にしてある。これにより無理な姿勢をとることなく、部品などが落下するリスクも少ない。また、地震などで転倒することがないように、ラック同士をベルトで結び付けてある。事務関係の書類の入った倉庫も、万が一の落下防止のベルトが取り付けられている。

H I O K I では基本的に落下、転倒、巻き込まれなどの大きな災害につながる要因そのものがほとんどない。

作業の種類によっては有機溶剤などを使用する工程もあるが、そうした作業場は1人ひとりの手許に排気口があり、作業者は防護マスク、手袋、保護眼鏡などを着用するルールを教育訓練により身に付けている。

連続休暇取得で給付金

日置電機本社にはテニスコート、グラウンド、ランニングコースなども整備され、社員の健康増進に一役買っている。これらは、地域の人にも開放されている。また、有給休暇の取得を促すため連続7日間以上の連続の休暇を取ると研修費が支給される脳活休暇制度を2012年から採用した。これは社員が心身ともにリフレッシュし、脳を活性化させ健康で安全な職場で働けるようにすることに役立っている。これによって、休暇の取得率は大きく向上した。日置電機には重大災害につながるような要因が少ないということもあるが、社員が自己実現のできるよう企業理念に基づいた数々の制度を設けていることが安全衛生にも多いに役立っている。